

# 学長からのメッセージ

## 次の140年へ!!



学長就任以来、様々な場で、お茶の水女子大学が今年、創立140周年という記念すべき節目の年を迎えることを申し上げて来ました。140年という長い歴史の中で、先人達が積み重ねてきた教育・研究の成果と本学で育った女性たちの活躍が、わが国の女子教育の基盤を創ってきたと言っても過言ではないと思っています。さらに、2004年の国立大学の法人化に当たって、「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」とのミッションを掲げ、国境を越えて、女性たちの資質能力の開発を支援してきたことは、着実に成果を挙げています。法人化の前年の2003年から開始したアフガニスタンの女子教育支援を契機に、学びたくても学ぶことが困難な国々の女性たちにも門戸を開き、彼女たちが尊厳と権利を保障されて、自由に自身の学びを深化させることの出来る場としての役割を果たしてきたことは、本学の教職員の誇りともなっています。また、それが、卒業生や在学生達の心に、世界への窓を開く機会ともなってきたと信じています。そして、それらの実績

に基づいて、私たちは、次の新たな140年を築いていきたいと決意を新たにしています。

11月29日に創立140周年記念式典を、またその前後に関連行事を計画しています。詳細は既にホームページに掲載されています。ご確認の上、是非、ご参加下さい。多くの方々のご参集とご協力を期待しています。

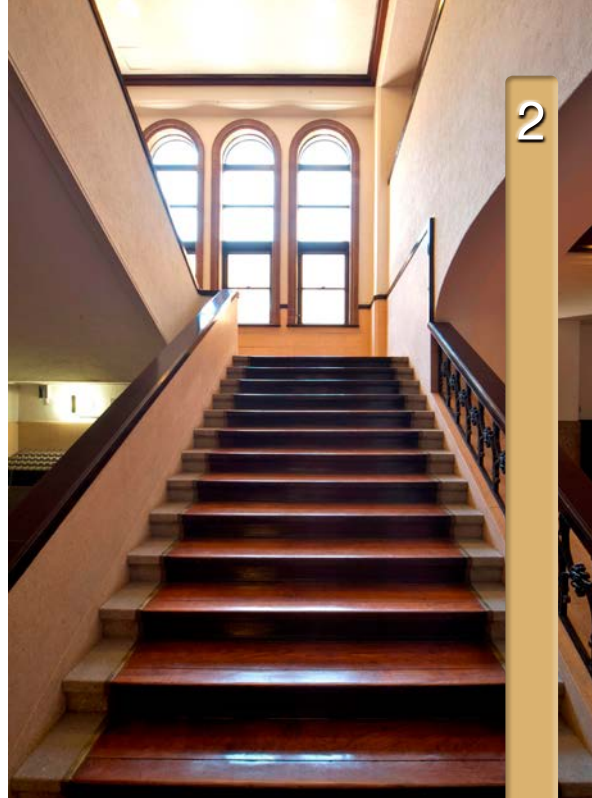
今、社会には様々な課題が顕在化し、国立大学にも、社会からの要請に応じた多様な改革が期待されています。そんな中で、次の140年に向けて、お茶の水女子大学がどのような将来図を描いたら良いかを、皆さんと一緒に考え、実現させて行きたいと思っています。特色ある魅力的な教育で学生さんたちと感動と夢を共有し、本学ならではの卓越した研究で学术界や社会に驚きと感動を発信して、教育・研究の成果を以って世界の平和と人々の幸福のために貢献していくことを目指したいと考えています。



Ochanomizu University Library



Ochanomizu University Library



今年はまだ、本学にとって創立 140 周年と言う記念すべき年であると同時に、第二次世界大戦が終結を見てから 70 年、同時に、国際連合創設 70 周年に当たります。さらには、御巣鷹山での日航機墜落から 30 年、そして阪神淡路大震災から 20 年と、日本の歴史にとって、悲しみに彩られた出来事の節目の年にも当たっています。いずれも、わが国の人々の生き方に大きな影響を与えてきましたが、本号では特に、第二次大戦後 70 年と言う節目に当たって、私達日本人が心に留めて置きたいこととお話したいと思います。

1つは、この区切りの年に当たって、日本が 70 年間にわたって他の国の人々や国土を害することなく、平和を守ってきたことを忘れてはならないということです。皆さんには、この平和への貢献というわが国の素晴らしい実績を、世界市民として、誇りに思ってください。

また、国際連合が創設されて 70 年と言うことは、世界の国々が恒久的な平和を希求し「二度と世界大戦を起

こさない」という決意の下で設立した国際機関が、70 年にわたって存続し、機能してきたことを意味します。そしてわが国は、国連の一加盟国として、核不拡散条約の成立を主導するなど、平和維持に向けて大きな役割を果たしてきました。このことも、私達は誇りに思っていることだと思います。

世界中の人々が平和で幸せな生活を望んでいるにも拘らず、現在、世界中で争いや災害などの様々な困難が起こって、人々の穏やかな生活が脅かされ、多くの人々の命が失われている状況があります。東日本大震災からの復興も、まだまだこれからです。そんな中で、日々の暮らしが穏やかに続くこと、普通の生活を送ることが出来ること、人々が信頼と愛で結ばれて暮らせることの大切さを、心に刻んで頂きたいと思っています。そして、弱い立場にある人々への思いやりを忘れず、自分たちに何ができるかを、問い続けて頂きたいと願っています。

2015 年 11 月

学長 室伏 きみ子



Ochanomizu University Library

学長からのメッセージ  
次の 140 年へ!!